

個人投資家様向け会社説明資料 (証券コード：7701)

株式会社島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど
様々な外部変動要素により、事前見通しと異なる結果となることがあります。

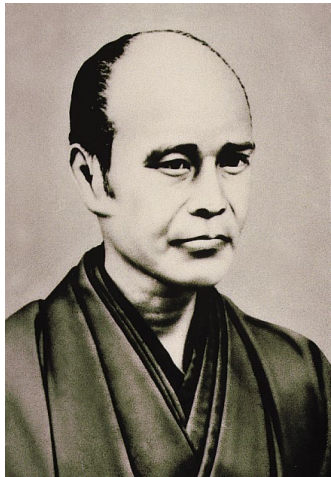
1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

会社概要

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章 : 地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します



初代島津源蔵
(1839-1894)

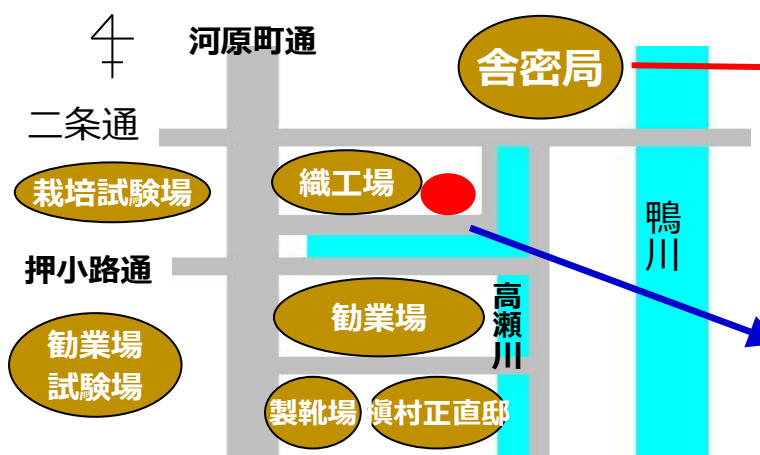
社名・所在地	株式会社 島津製作所 京都市中京区西ノ京桑原町1
創業	1875年（明治8年）3月
資本金	266億円
売上高	4,822億円
従業員	連結13,898名
連結子会社数	国内23社 海外55社（2023年3月31日現在）



本社・三条工場（京都市）

西暦	明治	島津の歴史	世の中の出来事
1868年	元年	明治維新以降、廃仏毀釈などで仏具の需要が低迷	京都府庁 開庁
1869年	2年	コア技術 仏具製造で培われた製造技術	日本最初の小学校設立
1870年	3年	↓	京都舎密局 開局
1875年	8年	島津製作所 創業 (理化学器械の製造)	榎村正直氏が京都府知事に就任
1877年	10年	榎村京都府知事の要請により、 軽気球飛揚	京都 ~ 神戸間に鉄道開通 (京都駅の開設)

科学技術の集積地



(1834-1896)



(1839-1894)



西暦	明治	島津の歴史	世の中の出来事
1895年	28年	科学標本部を新設	レントゲン博士がX線を発見
1896年	29年	X線写真の撮影に成功 (第三高等学校(京都大学の前身)と共同開発)	第1回オリンピック開催 (アテネ)
1897年	30年	蓄電池 (GSバッテリー) の製造開始	京都帝国大学 設立
		教育用X線装置の開発	
1909年	42年	国産初の医療用X線装置の開発	

初期の鉛蓄電池



1904年頃のGS蓄電池



二代 源蔵

(1869-1951)

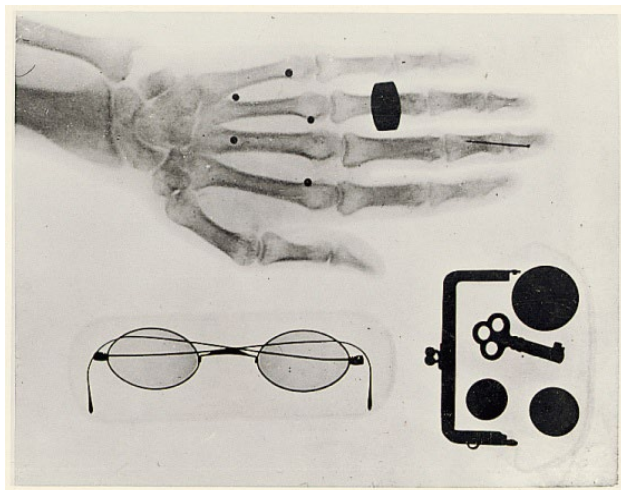


第三高等学校

(京都大学の前身)

村岡教授

(1853-1929)



初期のX線写真(1896)

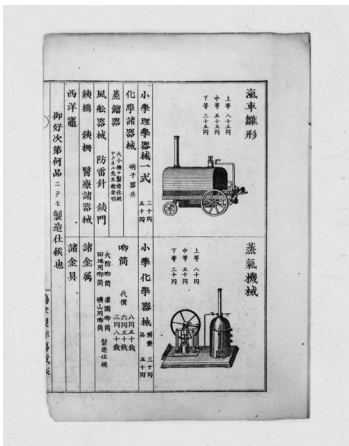


教育用X線装置
(1897)



医療用X線装置撮影の様子

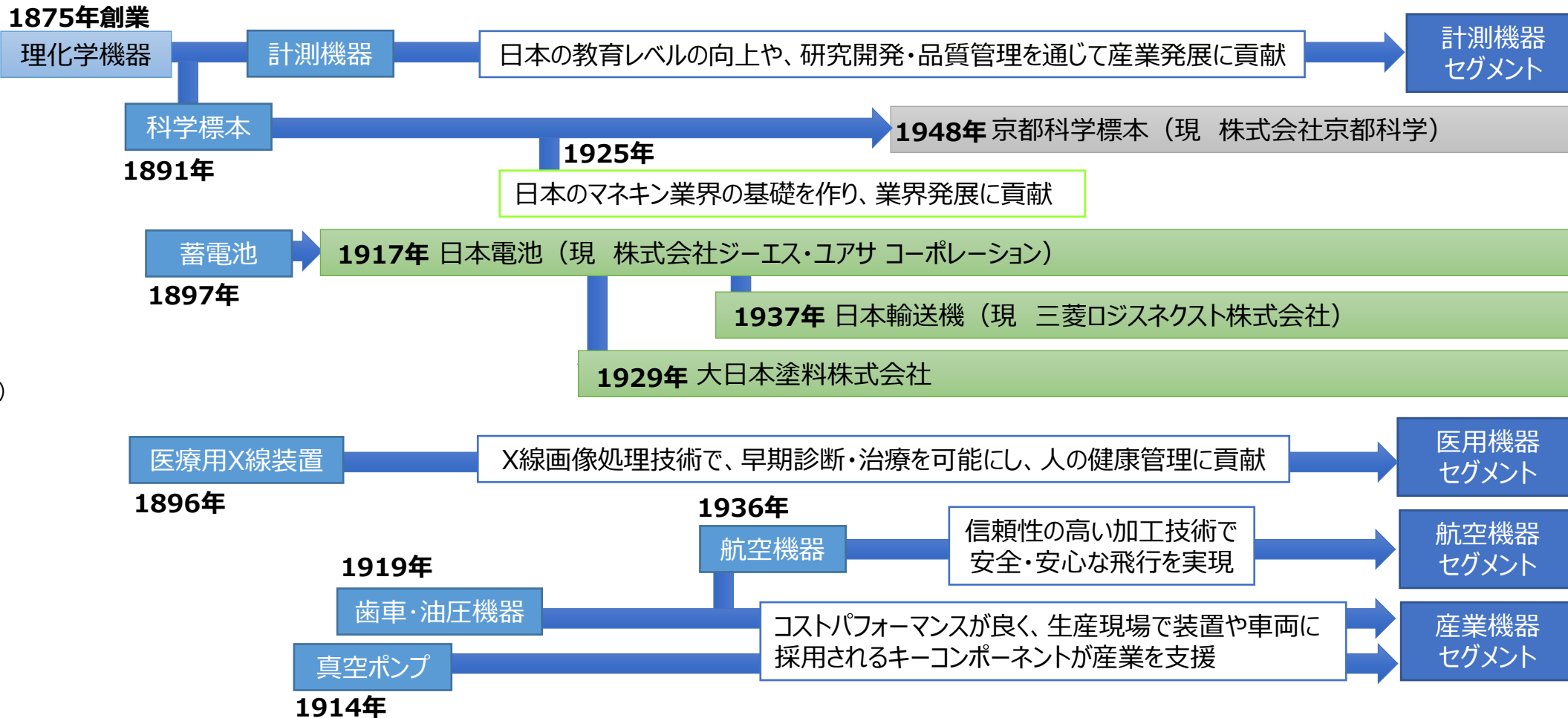
■ 二代島津源蔵は、社会が求める様々なものを形にした。その後変遷を経て、現在の四つの事業セグメント体制へ



理化学器械目録表
(島津製作所最古の製品カタログ)



二代 源蔵
(1869-1951)



※(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション、三菱ロジスネクスト(株)、大日本塗料(株)、(株)京都科学はグループ会社ではございません

■ 25か国に拠点を設け、地域毎に異なるニーズに応える（2022年度の海外売上高比率は56%）

- アプリケーション開発
- 研究・開発
- 主要販売会社

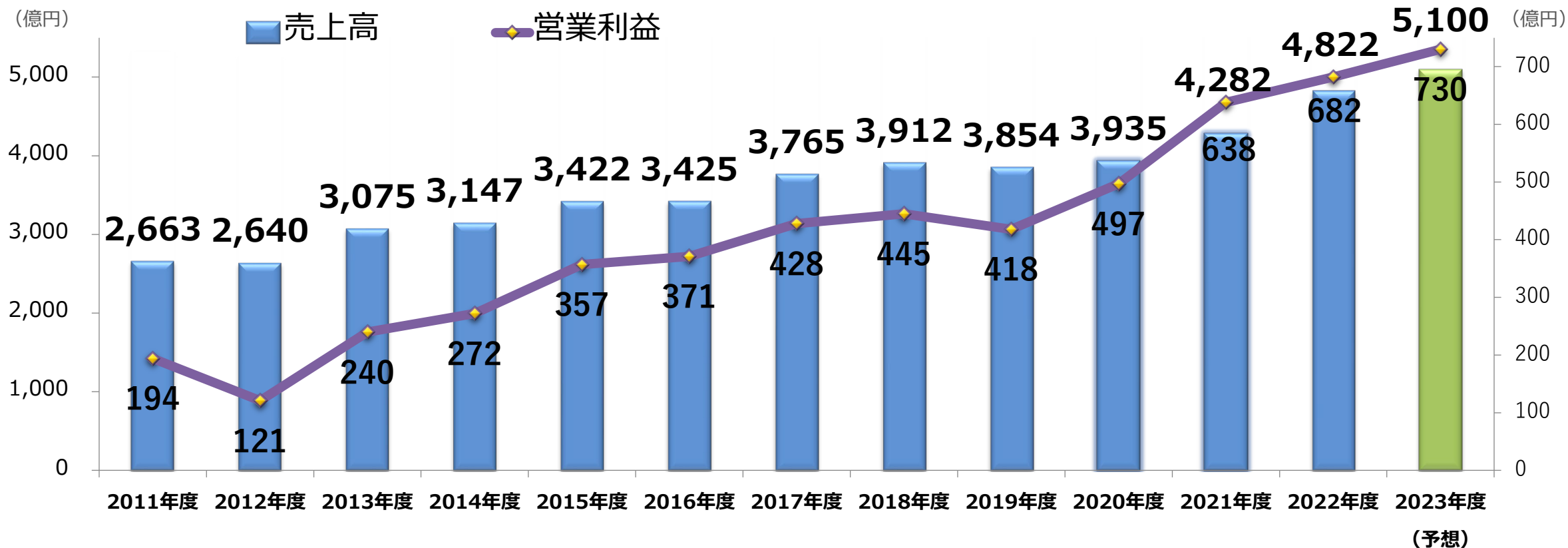
- 製造
- 販売・サービス
- ★ イノベーションセンター



連結子会社数：海外55社・国内23社（2023年3月31日現在）

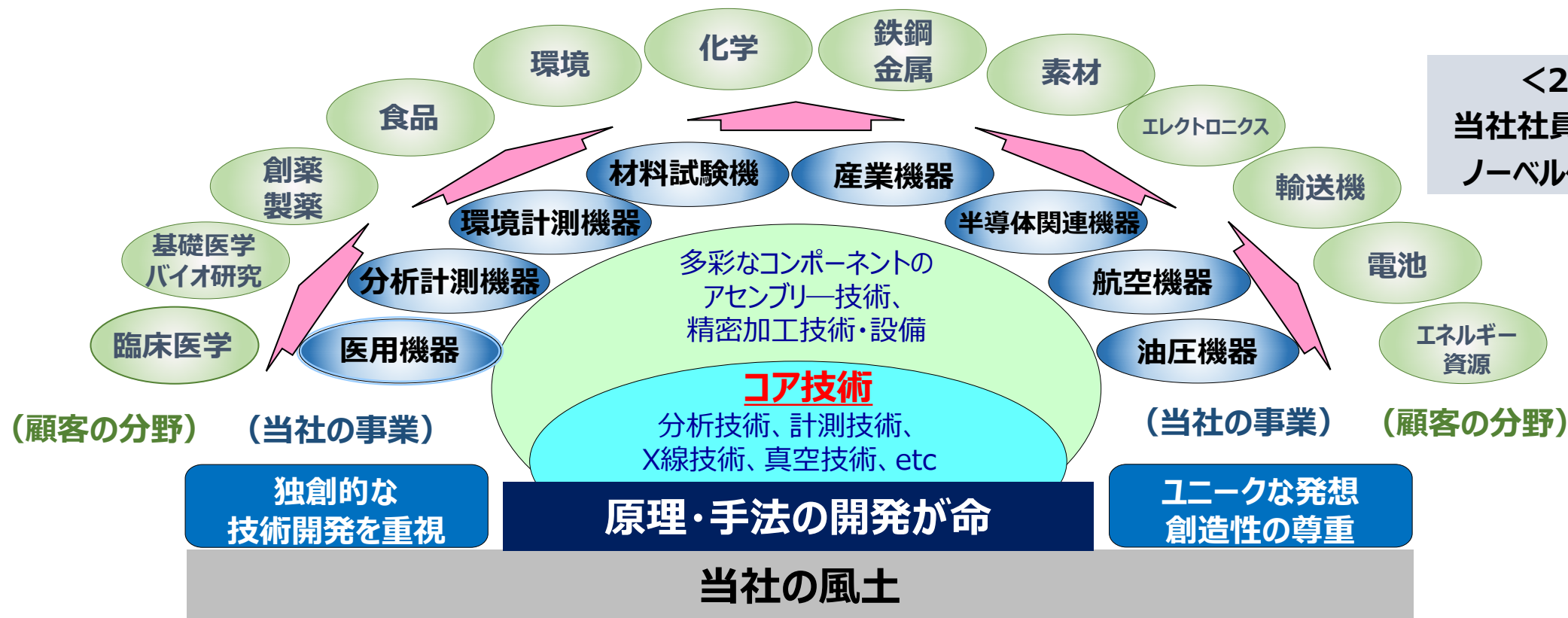
売上高・営業利益推移

- 10年間の年平均成長率（2012から2022年度までのCAGR）は、売上高6%、営業利益19%
- 2022年度は3期連続過去最高の売上高、営業利益を更新
- 2023年度も過去最高の売上高、営業利益の更新を目指す



1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

- 時代が変わっても「科学技術で社会に貢献する」の社是に忠実に行動
- ニッチであっても、様々な分野の顧客の要請に真摯に応える姿勢
- 産業の進歩・発展に対応し、貢献するための技術開発力の追求



＜2002年＞
 当社社員、田中耕一が
 ノーベル化学賞を受賞

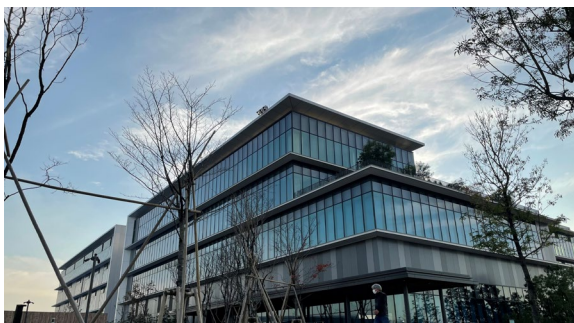
研究開発体制

- 研究開発から製品・アプリケーション開発まで一貫した体制を構築
- イノベーションセンターを設置し、研究機関・企業・大学との連携を強化

アプリケーション 技術開発

特許保有件数
7,275件
(うち国内4,181件、
海外3,094件)
2022年度実績

製品・サービスの提供



Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
(2023年1月開所)



ニーズ

研究開発費
190億円
対売上高比率3.9%
2022年度実績

基盤技術研究

製品・ サービス開発



ヘルスケアR&Dセンター



基礎研究



Shimadzu みらい共創ラボ

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
- 3. 事業概要**
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

4つの事業セグメント

■ 計測・医用・産業・航空の4つの事業を展開

航空機器
最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献

コントロールバルブモジュール
パワードライブユニットギヤボックス
フラップアクチュエータ
スタビライザトリムアクチュエータ
アングルギヤボックス

フライトコントロールシステム

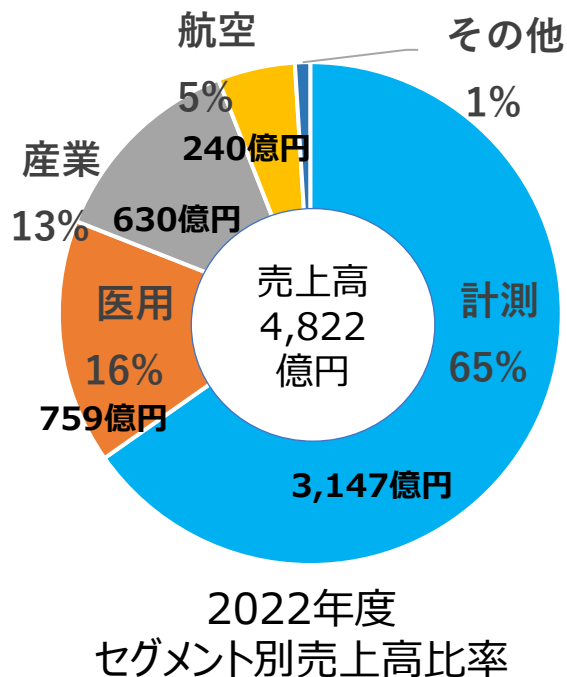
計測機器
分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献

LCMS-8060NX
高速液体クロマトグラフ質量分析計

高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献

産業機器
油圧ギヤポンプ

ターボ分子ポンプ (真空ポンプ)



医用機器
X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献

血管撮影システム Trinias

■最先端の分析技術で医薬、環境、ライフサイエンスなど様々な分野での研究開発・品質管理に貢献

社会課題

アドバンスト・ヘルスケア

- ・少子高齢化による医療、社会保障費の負担増
- ・病気の超早期診断、予防診断、感染症対策
(予防・迅速診断)

マテリアル

自動車や航空機など輸送機における
高機能材料の信頼性向上を支援

環境・エネルギー

カーボンニュートラル実現に向けた
再生可能エネルギーの活用拡大

提供価値

- ・認知症・がん・生活習慣病などの早期診断等人々の健康維持に貢献
- ・高度な分析技術により、新薬開発や生産性向上に貢献



液体クロマトグラフ質量分析システム

残留農薬や水質検査、包装容器に含まれる規制物質の評価など、規制対応による食の安心・安全の確保に寄与



ガスクロマトグラフ

各種材料の強度試験や、非破壊での内部状態解析など、主に輸送機分野で燃費改善や安全性確保のための新素材開発に貢献



精密万能試験機



非破壊検査機器

クリーンエネルギー技術開発に役立つシステム・アプリケーションを提供し、脱炭素化社会実現に貢献



オンライン全窒素・全リン計



エネルギー分散型蛍光X線分析装置

- ・新型コロナウイルス検出試薬キットなどの感染症の検査技術開発や、データ管理、ウイルスモニタリングなどの感染症拡大防止に貢献



全自動PCR検査装置



新型コロナウイルス検査試薬

事業概要

計測機器事業

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

■ 売上高、営業利益、共に3期連続で過去最高を更新（2022年度）、2023年度も4期連続を目指す

■ 顧客

製薬・食品・自動車・化学会社、医療機関、受託分析会社、
大学や政府の研究機関

■ 市場

市場規模約800億ドル。年成長率5－6%。
装置とリカーリング（メンテナンス・消耗品等）の比率は5:5

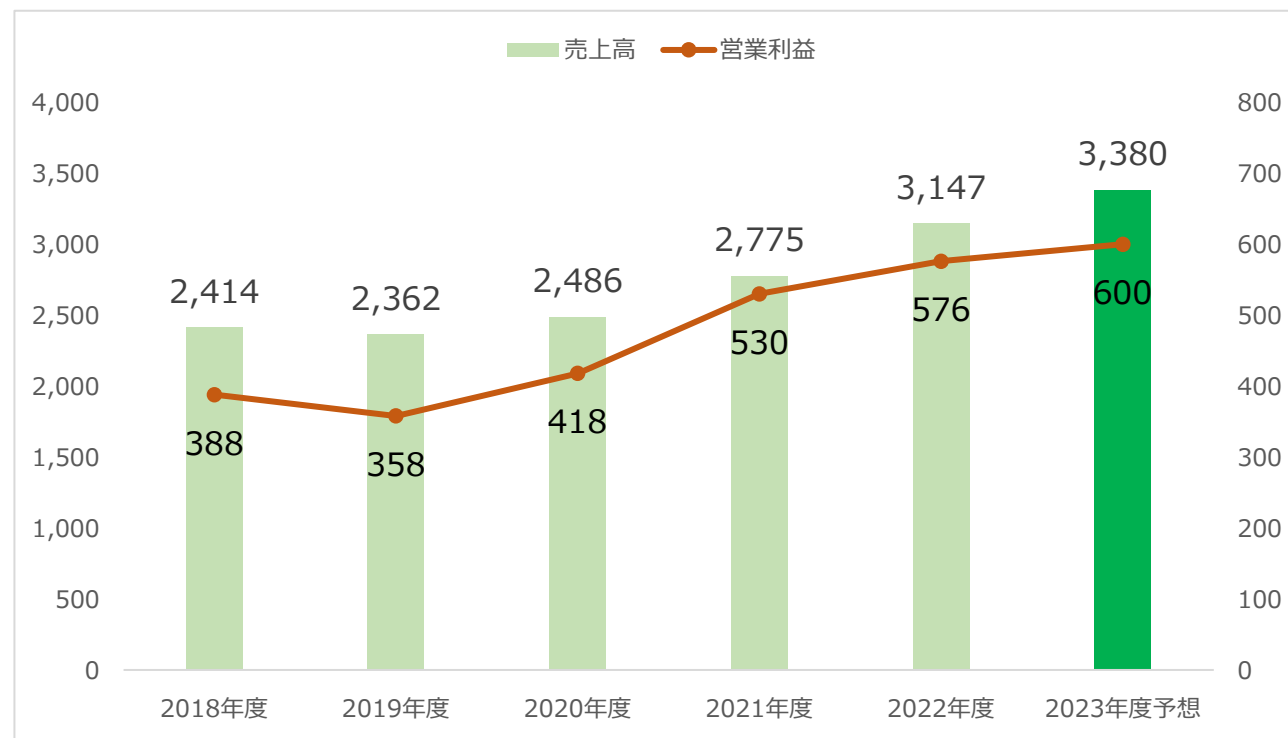
■ 競合（主に米国企業）

Thermo Fisher Scientific, Inc.、Agilent Technologies, Inc
Danaher Corporation、Waters Corporation

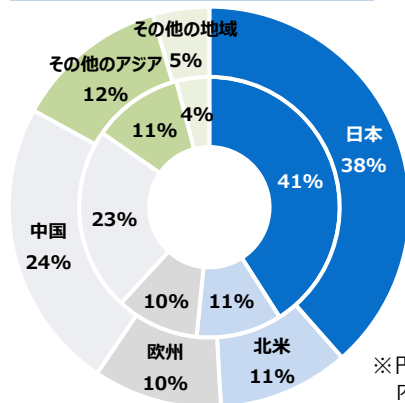
業績推移

(億円)

(億円)

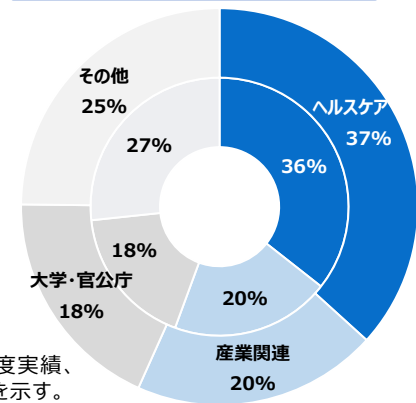


地域別売上比率



※円グラフ外側は2022年度実績、
内側は2021年度実績を示す。

市場別売上比率



- 最先端のイメージング技術で、患者負担が軽く使用しやすい医療システムを提供
- 感染症や脳/心疾患、がんなど様々な疾患の早期発見、早期治療に貢献

社会課題 身体の不調を早期に発見し、疾患の原因をより詳細に解明する検査技術の高度化への対応

提供価値

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用。近年は画像処理アプリケーションも広がり、その用途が拡大



一般撮影システム

病棟のベッドサイドや院内の様々な場所でX線撮影ができ、その場で迅速な容態確認が可能。感染症や災害時のX線画像診断にも使用



回診用X線撮影装置

心疾患・脳血管疾患の
カテーテル治療支援



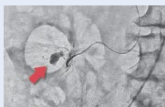
血管撮影システム

SCORE PRO Advance



医療デバイスの視認性向上

SCORE RSM

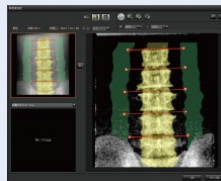


体動に強く。低被ばく撮影が可能

高齢化で増える内臓・骨疾患の画像診断に対応



X線TVシステム



骨密度計測

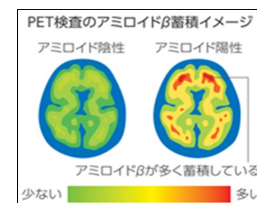
心の病の診断や脳卒中
リハビリテーションで活躍



近赤外光イメージング装置

近赤外光で脳活動を計測し、うつ病の診断補助が可能。また脳活動の可視化で、リハビリテーションを支援

頭部・乳房に特化した世界発のTOF-PET装置



TOF-PET装置

これ1台で頭部・乳房両方の検査ができるだけでなく、より正確ながん（頭部・乳房）や認知症の検査が可能

■売上高過去最高を更新（2022年度）

■顧客

病院などの医療機関

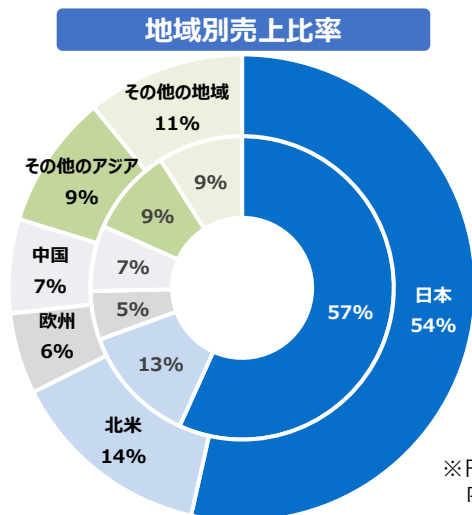
■市場

X線診断装置は約70億ドル。年成長率3-4%。

国別で医用機器としての認証が必要。単一国家で人口が多い米国、中国、日本が重要地域

■競合

Koninklijke Philips N.V.、Siemens Healthineers AG、GE Healthcare、キヤノン(株)、富士フイルム(株)

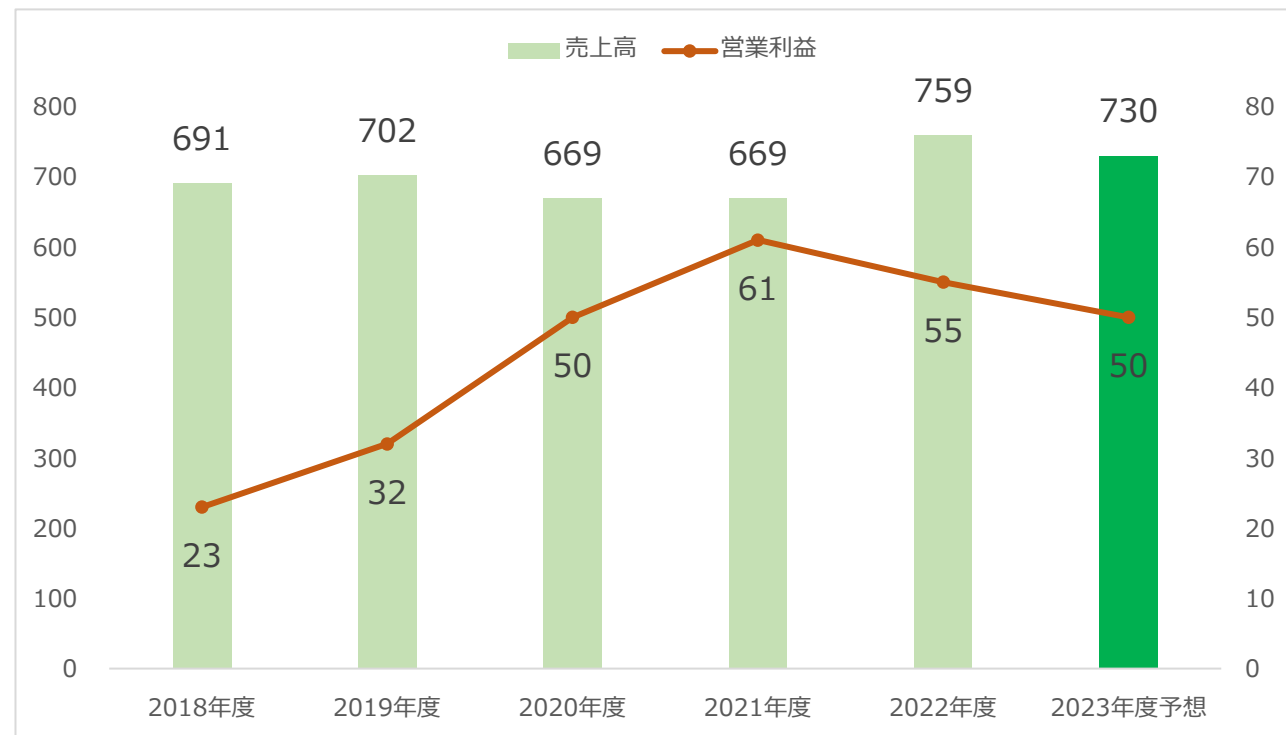


※円グラフ外側は2022年度実績、内側は2021年度実績を示す

業績推移

(億円)

(億円)



■ターボ分子ポンプや高度な油圧技術を駆使した機器・部品など、高品質、高性能なキーコンポーネントを提供し、産業の発展に貢献

社会課題

持続可能かつ強靱なインフラ開発。脱炭素社会の実現に向けた世界的な取り組み

提供価値

半導体やディスプレイの製造に

真空環境を創りだす、高性能ポンプ
主に半導体製造装置に搭載

ターボ分子ポンプ



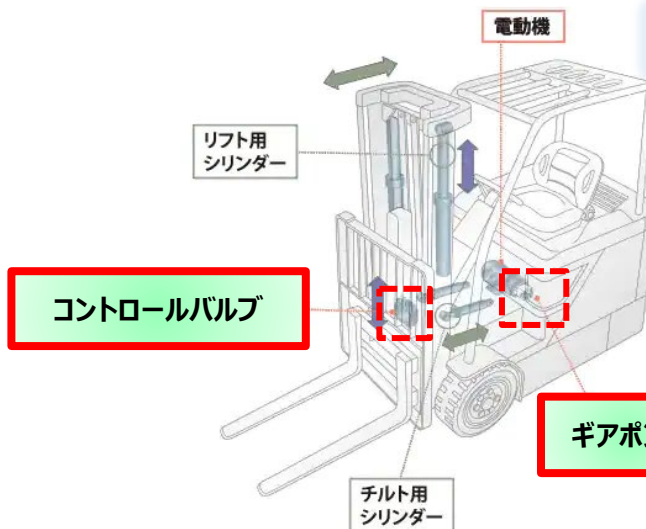
次世代モビリティ分野の発展を支える



車載部品向けセラミックス素材の
焼結に利用

工業炉

産業車両・建機・農機の油圧動力源



油圧ギアポンプの
低騒音・低振動を
実現



油圧ギアポンプ

油圧ギアポンプからの作動油の方向、
圧力、流量を調整



油圧コントロール
バルブ

■ 2023年度は過去最高業績の更新を目指す

ターボ分子ポンプ

■ 顧客

半導体製造装置メーカー、フラットパネルディスプレイメーカー

■ 市場

半導体製造装置需要と連動

油圧機器

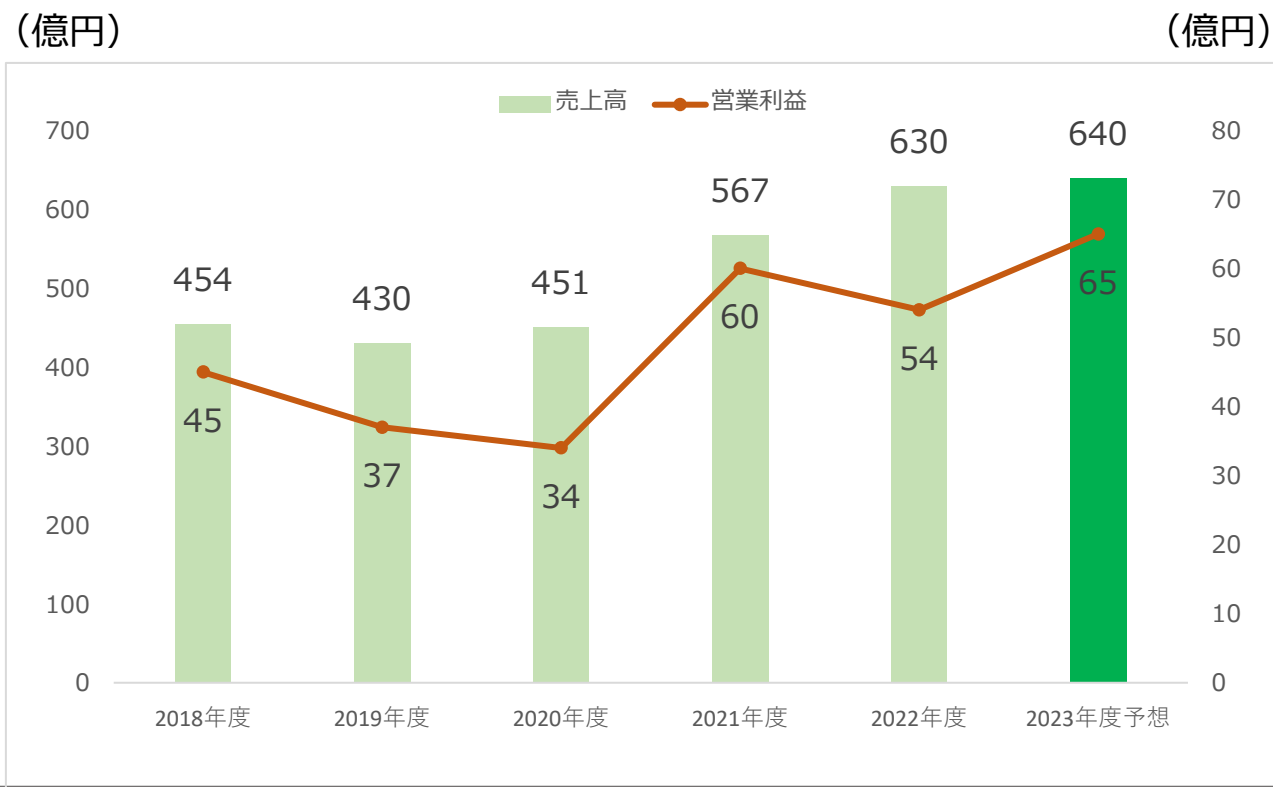
■ 顧客

フォークリフトメーカー、小型建機メーカー、農業機械メーカー

■ 市場

物流（産業車両）・建設機械市場・農業機械市場と連動

業績推移



■ 先端技術と高度な精密加工技術を統合した搭載機器・部品やシステムを提供し、安心・安全な社会の実現に貢献

社会課題 社会インフラの強靱化。モビリティ分野で、安全性、環境保全確保、快適性の追求

提供価値

エアマネジメントシステム

航空機内の温度と圧力を調整するエアマネジメントシステム。機能環境を統合的に最適化する解析・評価能力で快適環境の提供に貢献



高品質なメカニカル技術や信頼性の電子制御技術で安全な飛行に貢献

パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス



コントロール・バルブ・モジュール

コックピット・ディスプレイ・システム



ヘルメットマウンテッドディスプレイ



ヘッドダウンディスプレイ

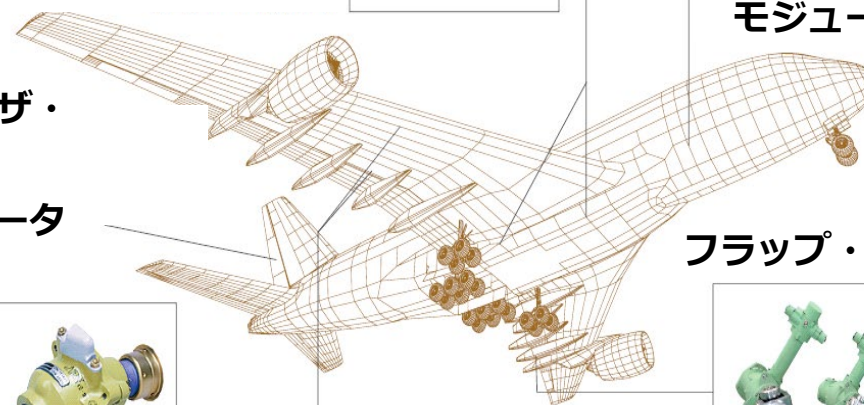


高度・速度・方位などの飛行情報を投影する装置。高度な電子技術と光学技術を駆使し、パイロットの負荷軽減、飛行安全に貢献

スタビライザ・トリム・アクチュエータ



アングル・ギヤボックス



フラップ・アクチュエータ



- 防衛省向けと民間航空機市場向けに展開（防衛：民間＝3：1）
- 総利益率向上などにより、営業利益率が改善

防衛分野

■ 顧客

防衛省、機体メーカー、エンジンメーカー

■ 市場

国家の安全保障に係る事業のため、景気に左右されない

民間航空機分野

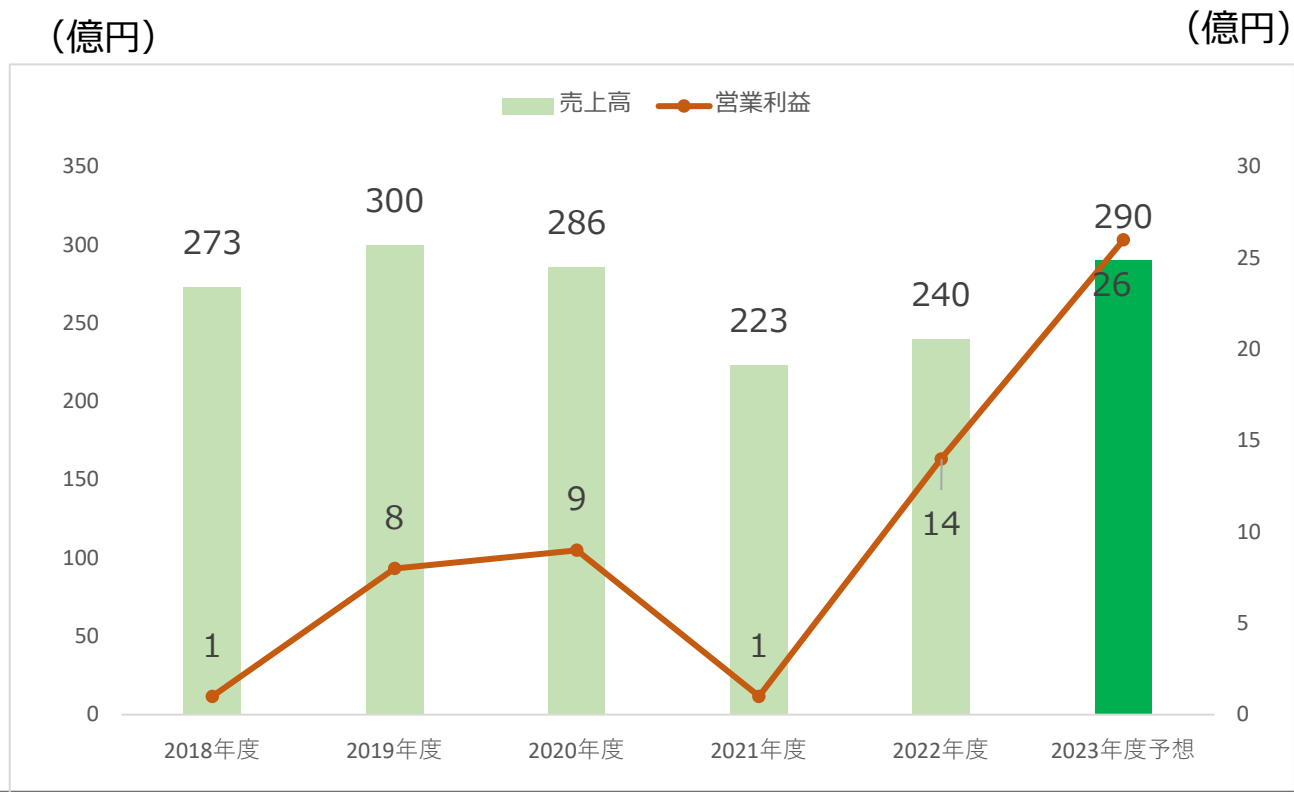
■ 顧客

海外機体メーカー、航空機用エンジンメーカー、航空会社など

■ 市場

- ・旅客数に応じて需要は減少
- ・国際基準に照らした認証の取得や、品質管理水準の要求が高いため、開発・製造に高度な技術力が必要

業績推移



1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. **中期経営計画**
5. ESGの取り組み
6. その他

当社の目指す姿

- 新型コロナウイルスとの闘いを通して、「人の命と健康」への意識が高まっている
- サステナビリティへの関心が高まり、「地球の健康」が重要社会課題に

ヘルスケア領域

人の命と健康への貢献

マテリアル領域

産業の発展、安心・安全な社会への貢献

社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章

グリーン領域

地球の健康への貢献

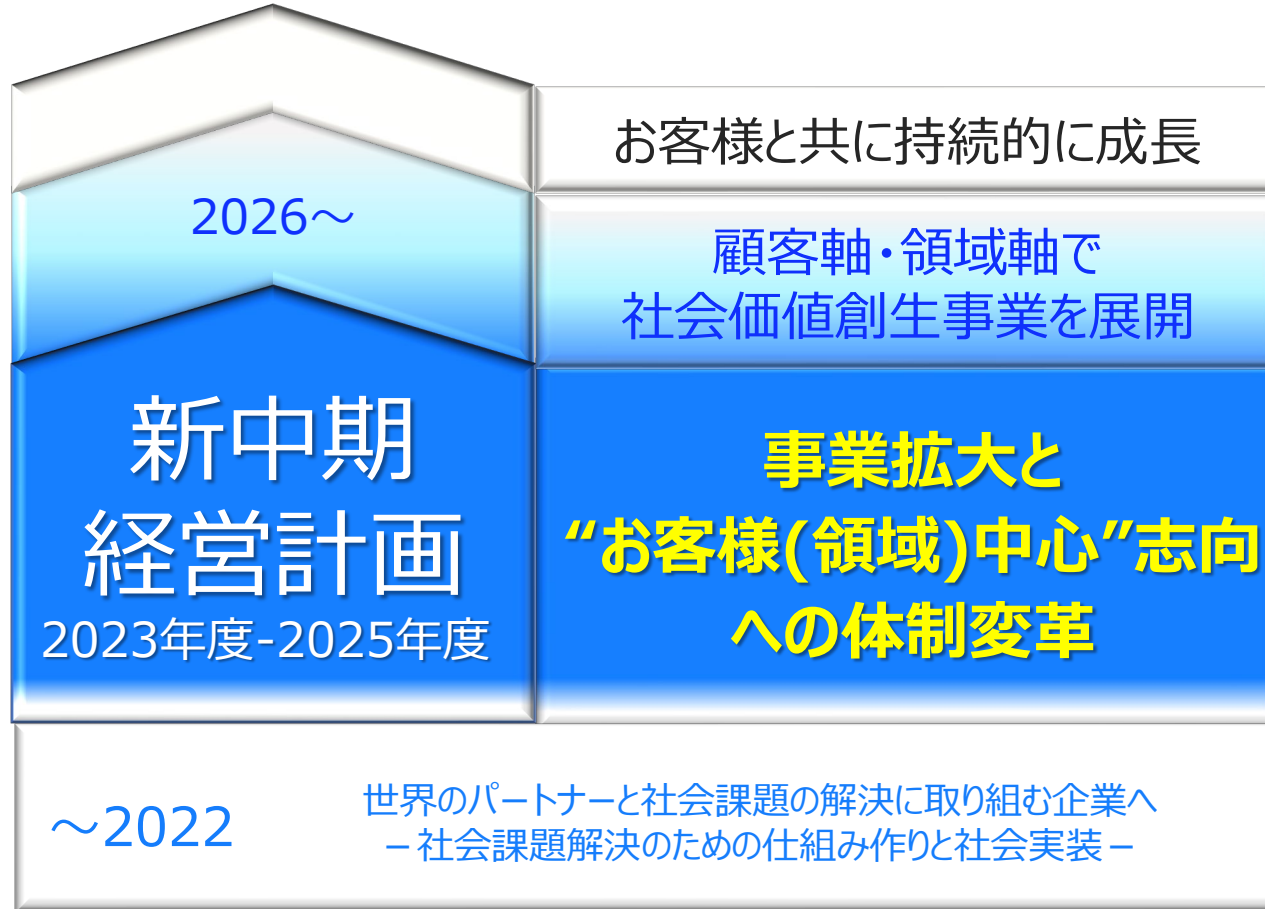
インダストリー領域

プラネタリーヘルス
(人と地球の健康)の追求



中期経営計画の位置づけ

■ 事業拡大と、事業部の垣根を越えてトータルソリューションを提供する企業へ変革



Best for Our Customers !

お客様を中心とする事業展開へ

価値 = お客様の必要な「データ」

- お客様の必要な「データ」をお届けする
トータルソリューション提供企業
「お客様の近くで、お客様の言葉で」



製品を軸とする事業展開

価値 = 製品

- お客様の必要な「製品」をお届けする
ハード提供企業

世界のパートナーと共に社会課題を解決するイノベティブカンパニーへ
～技術開発力と社会実装力の両輪強化により持続的成長を果たす～

**5つの
事業戦略**

重点事業強化
LC、MS、GC、試験機、TMP

メドテック事業の強化

海外事業の拡大
- 北米強化 -

**リカーリングビジネスの
強化、拡大**

新事業・将来事業の創出

**7つの
経営基盤
強化**

ガバナンスの強化

開発スピード強化

**国際標準化・
規制対応力の強化**

グローバル製造の拡大

DX推進

人財戦略：島津人の育成

財務戦略：攻めの財務へ

財務目標

業績

売上高 **5,500**億円
 営業利益 **800**億円
 営業利益率 **14.5%**

資本効率

ROE **12.5%**以上
 ROIC **11.0%**以上

成長投資（3年間累計）

研究開発費 **730**億円
 設備投資 **800**億円

株主還元

配当性向 **30.0%**以上を維持

非財務目標

気候変動対策

事業活動と製品使用に伴うCO₂排出量の削減

・自社排出量 : **1.0**万t-CO₂

・削減貢献量*1 : **1.2**万t-CO₂

(2025年度)

*1当社エコプロダクトPlus制度認定製品を利用したことによる顧客のCO₂削減量

女性活躍推進

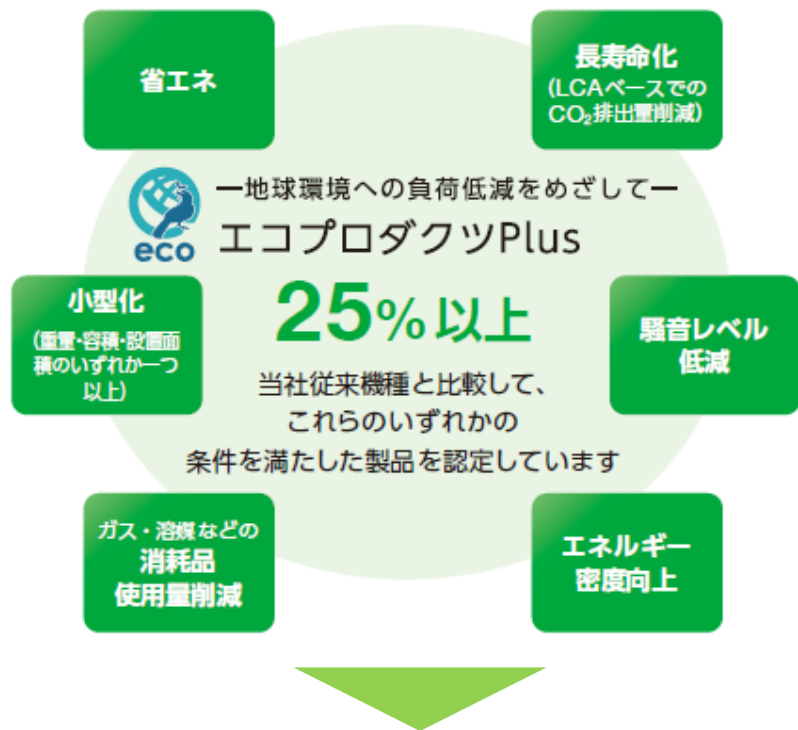
女性管理職比率(連結) **12%** ⇒ **15%**
 (2025年度) (2030年度)

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
- 5. ESGの取り組み**
6. その他

「すべての製品のエコ化」を推進

■ 地球環境の保全に配慮した製品・サービスの開発・提供を推進

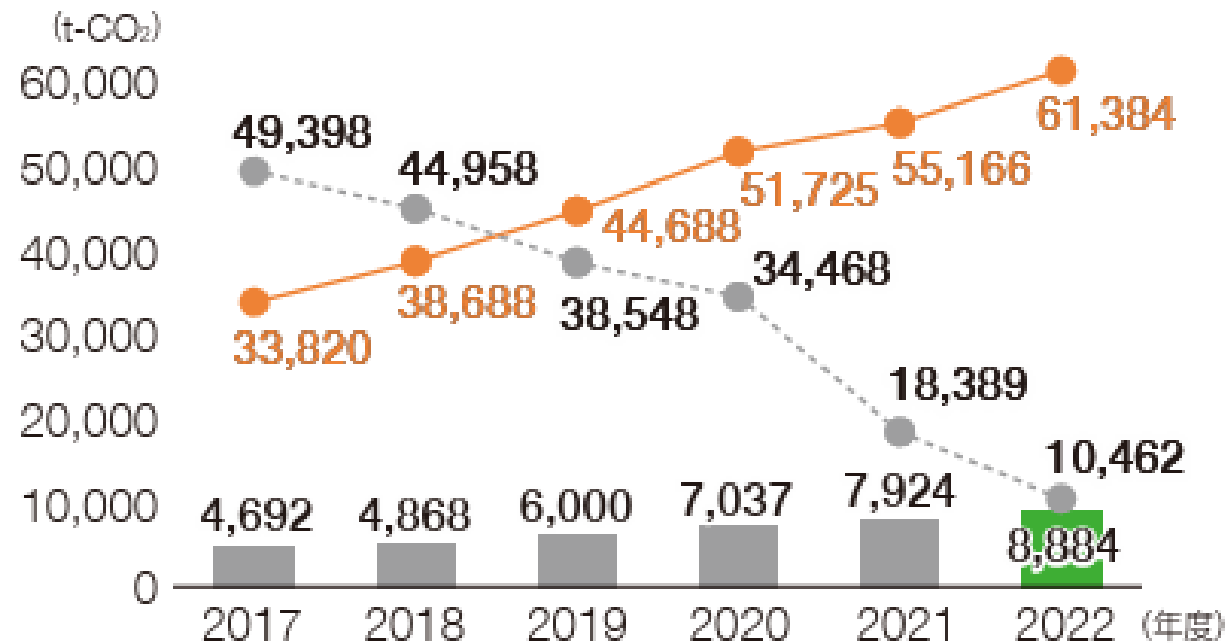
環境配慮認定製品エコプロダクツPlusの要件



2030年度までに製品売上高の**30%**を
環境配慮認定製品エコプロダクツPlusとする

島津グループCO₂排出量とCO₂削減貢献量

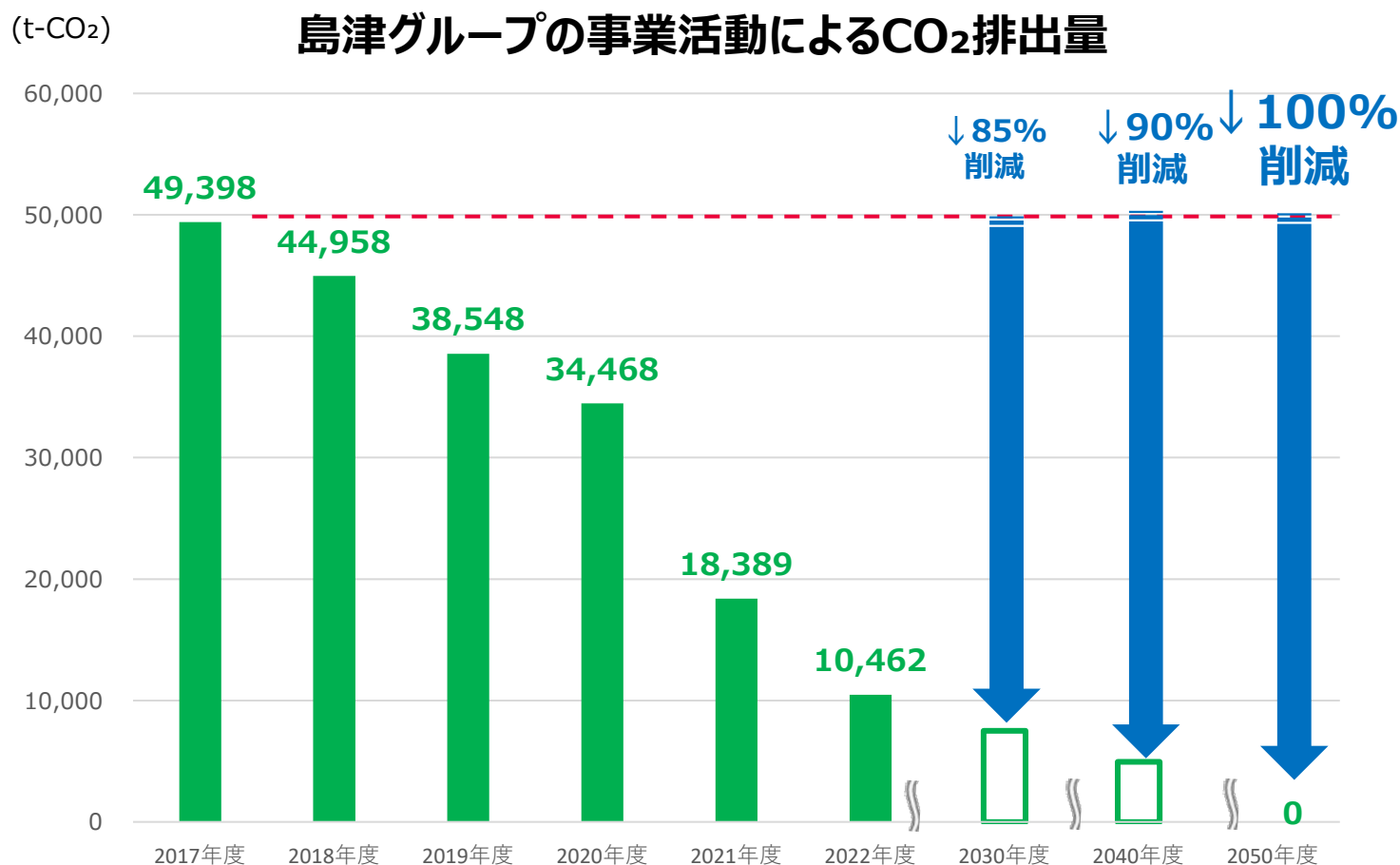
■ 年度内に新規に販売された製品の削減貢献量 — 市場累計量
— 島津グループエネルギー起因CO₂排出量



※CO₂削減貢献量：当社の製品の使用により、顧客のCO₂排出量を従来よりも削減させた量のこと。
計算式 CO₂削減貢献量=従来製品のCO₂排出量(t/年)-新製品のCO₂排出量(t/年)で算出

事業における環境負荷低減「CO₂排出量の削減」

- 2022年3月に新たなCO₂排出量削減目標を設定。2050年にCO₂排出量実質ゼロとする(2017年度比)
- 中間目標として2030年度に85%以上、2040年度に90%以上削減



2019年5月：TCFD宣言への賛同



2021年3月：RE100を宣言

RE100

CLIMATE GROUP | CDP

2022年2月：

「サプライヤーエンゲージメントリーダー」に選定



2022年10月：SBT認定を取得



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



SHIMADZU
Diversity

ダイバーシティは 科学技術の源泉

島津製作所は、科学技術で社会に貢献し続けるために、多様な社員一人の意思と違いをポジティブに受け止めその才能を最大限に活かします



女性リーダーの育成とキャリア支援

- ・管理職一步手前を対象としたShimadzu Women Next Career Design研修
- ・フレックス、テレワーク、時間単位年休や出産育児に関する幅広い支援制度など、女性が活躍できる環境を整備

女性管理職比率

2022年度 2030年度目標
10.9% → 15%以上

女性育休取得率*

5年連続 100%

女性の育休からの復帰率*

2年連続 100%

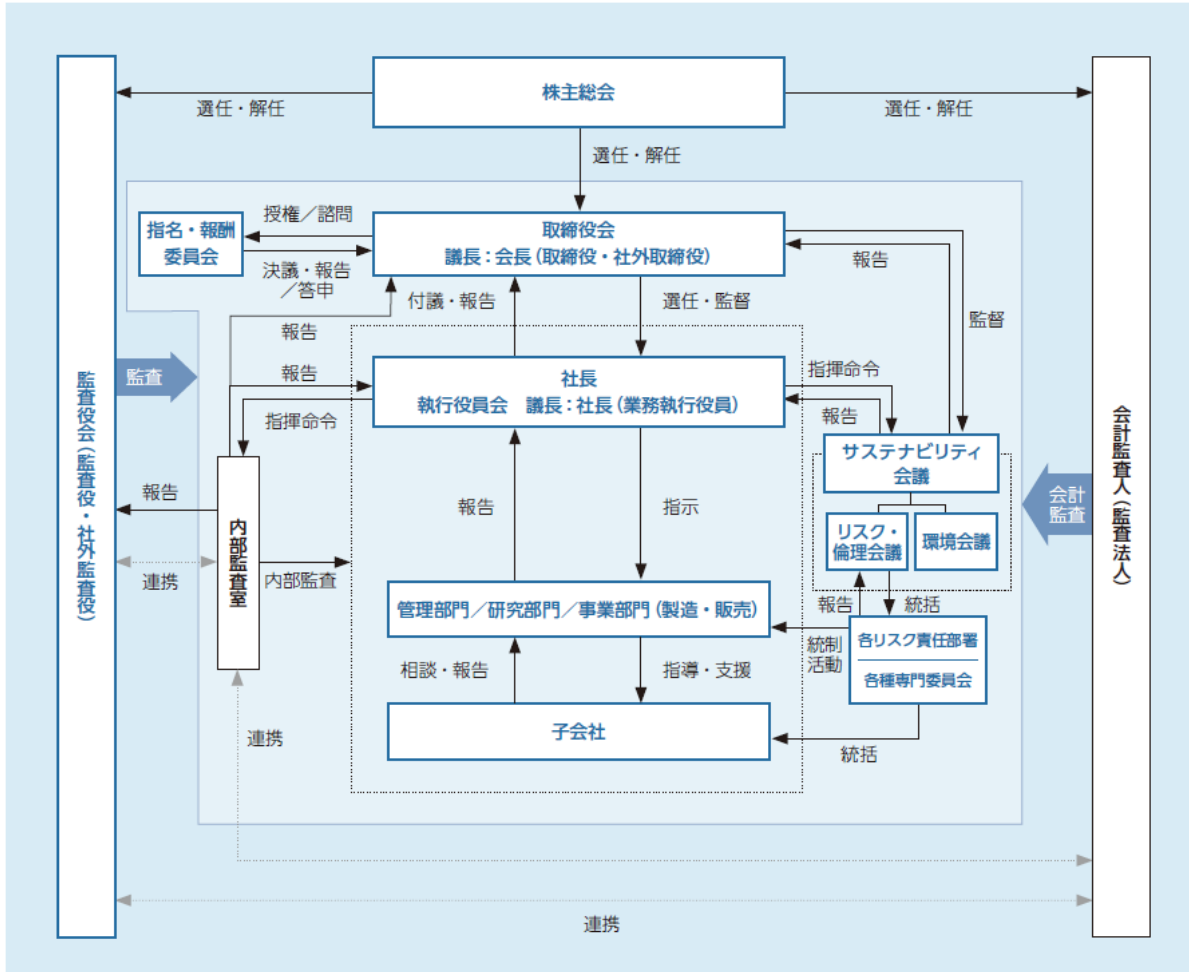
男性育休取得比率*

2020年度 2022年度
22.7% → 56.7%

*単体データ

■ 取締役会は多様性のある構成となっており、多角的な視点から議論し、適切な意思決定と監督を実現

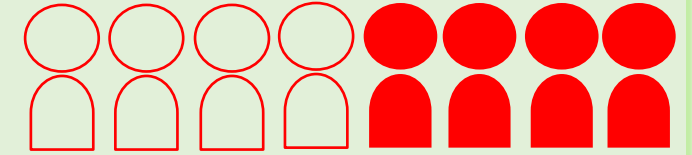
コーポレートガバナンス体制図



取締役会の構成

○ 社内 ● 社外

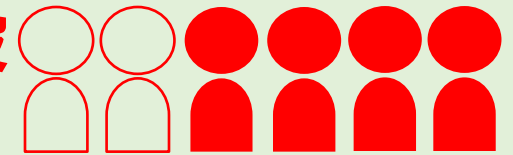
全取締役8名の**1/2**が
社外取締役



※社外取締役4名のうち、2名が女性取締役

指名・報酬委員会

委員長は社外取締役



委員の**2/3**が社外取締役

※委員6名中4名が社外取締役

スキルマトリックス

現時点での取締役にとって重要と考える知見・経験を適切に有している方を、役員候補者として指名します。なお、求められる知見・経験は、外部環境や会社の状況を踏まえ、適宜見直しを図ります

※スキルマトリックス紹介ページはこちら

https://www.shimadzu.co.jp/ir/governance/skill_matrix.html

- GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG指数へ選定
- 環境に対する様々な取り組みや、ステークホルダーとの対話の姿勢が評価されました

GPIF採用のESGインデックスへの組み入れ

GPIFが採用している次の4つのESGインデックスに採用

- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・MSCI 日本株女性活躍指数
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数 TERMS AND CONDITIONS

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN) TERMS AND CONDITIONS



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ステークホルダーとの対話姿勢に対する評価

2021年の日本IR協議会
「IR優良企業賞」を初受賞



環境への取り組みに対する評価

CDPスコア：気候変動B 水セキュリティB

エコ・ファースト企業

先進的な環境保全の取り組みが評価され。精密機器業界で初めて、環境大臣より認定されました。



ハビタット（JHEP）評価認証

本社・三条工場内に「島津の森」（8,000㎡）を整備しています。公益財団法人日本生態協会のハビタット評価認証において、最高ランクのAAA評価を取得しています。



本社・三条工場内「島津の森」

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. E S Gの取り組み
6. その他

その他 株価推移

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

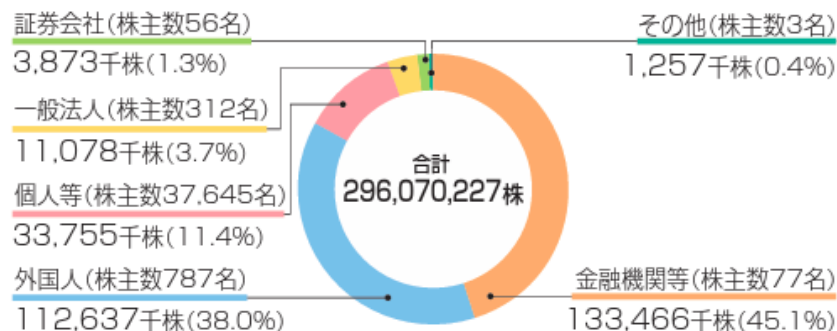
- 東証プライム市場
- 時価総額：1兆1,357億円（2023年12月8日時点）

株式の状況(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数：800,000,000株
発行済株式総数：296,070,227株
株主数：38,880名

所有者別株式分布状況

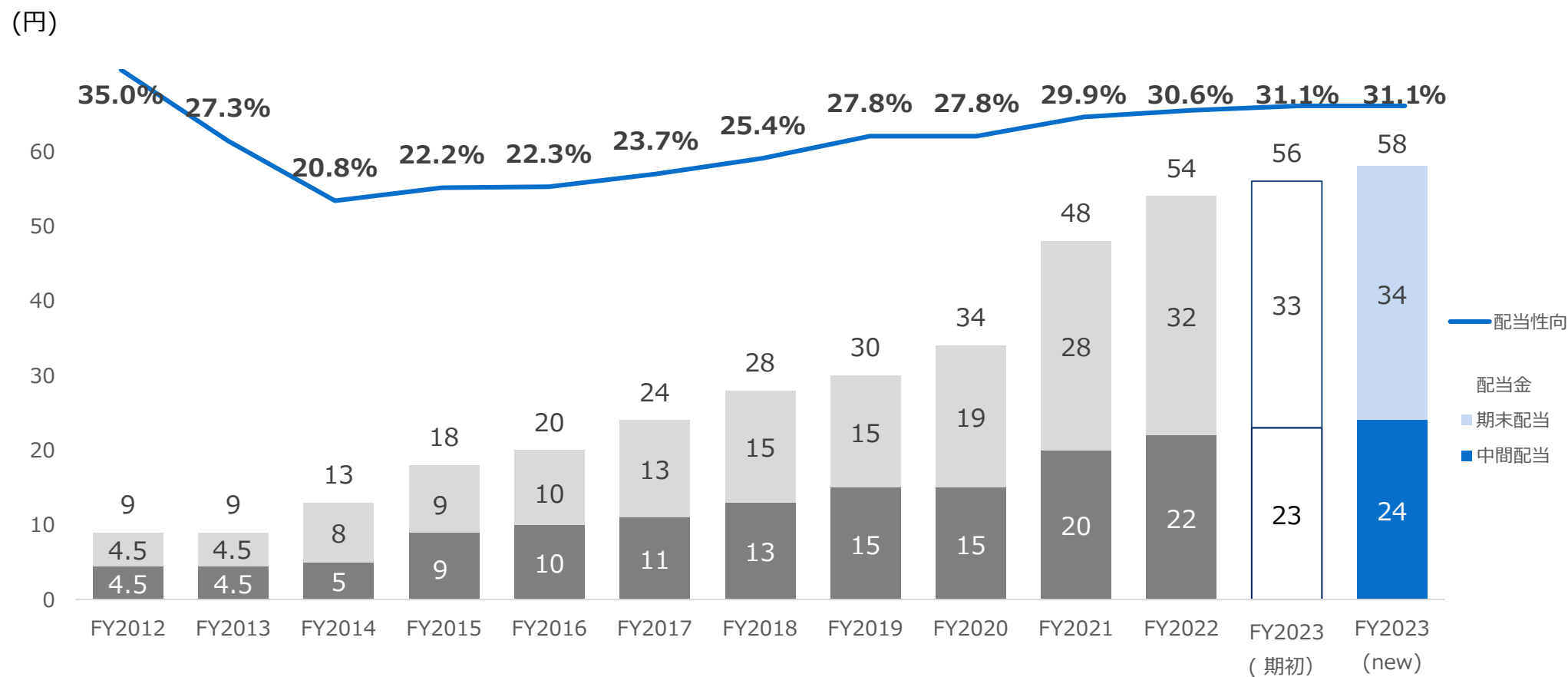
所有者別株式分布状況



その他 株主還元

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 還元方針： 配当性向30%以上の維持と継続的な株主還元
- 配当金： 1株当たり58円と10期連続増配(FY2023の配当性向は31.1%を予定)



主要な経営指標等①

	<u>2020年度</u>	<u>2021年度</u>	<u>2022年度</u>	<u>2023年度（予想）</u> (中期経営計画初年度)
売上高	3,935億円	4,282億円	4,822億円	5,100億円
営業利益	497億円	638億円	682億円	730億円
営業利益率	12.6%	14.9%	14.1%	14.3%
当期純利益	361億円	473億円	520億円	550億円
EPS	122.52円	160.49円	176.64	-
ROE	11.3%	13.2%	12.9%	-
PER	32.69倍	26.39倍	23.44倍	-
PBR	3.52倍	3.27倍	2.88倍	-
研究開発費	157億円	163億円	190億円	220億円
配当金	34円	48円	54円	58円
配当性向	27.8%	29.9%	30.6%	31.1%

※1. 各年度最終営業日のPERを記載 ※ 2. 各年度最終営業日のPBRを記載

主要な経営指標等②

	<u>2019年度</u>	<u>2020年度</u>	<u>2021年度</u>	<u>2022年度</u>
総資産	4,376億円	4,975億円	5,605億円	6189億円
純資産合計	3,028億円	3,355億円	3,812億円	4235億円
自己資本比率	69.2%	67.4%	68.0%	68.4%
営業活動による キャッシュフロー	395億円	638億円	634億円	483億円
投資活動による キャッシュフロー	▲161億円	▲139億円	▲60億円	▲345億円
フリーキャッシュ フロー	234億円	499億円	573億円	138億円
財務活動による キャッシュフロー	▲262億円	▲130億円	▲157億円	▲194億円
設備投資	177億円	145億円	164億円	225億円
減価償却	133億円	155億円	162億円	175億円



SHIMADZU

Excellence in Science

ブランドステートメント “Excellence in Science”

私たちSHIMADZUグループは、世界中のお客様がさまざまな新製品を開発するために、また環境の保全や改善のために、あるいは人々の健康や暮らしをよりよくするために、製品やサービスをご提供してまいりました。このブランドステートメントは、その誇りを胸に刻み、さらに優れた技術・製品・サービスをご提供できるよう、いっそうの技術の研鑽、知識の集積につとめ、「科学において卓越した存在」と認められるよう、社会と自らにコミットするものです。

お問い合わせ先：

(株)島津製作所 コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp